

2022

11

NOVEMBER

Vol.88

Produce by  
Osaka Circular Resource Association

# Clean Life

クリーン  
ライフ



日報ビジネス(株)主催  
2022NEW環境展

## TOPICS

- ① プラスチック資源循環促進法の施行について
- ② サル痘患者の発生を受けた感染性廃棄物の取扱いについて
- ③ PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理について
- ④ 産業廃棄物処理業者を対象とした令和4年度政府支援策について



公益社団法人 | 大阪府産業資源循環協会

OSK

# 廃棄物 管理士 講習会

## 環境省認定 講習会



本講習会は環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」に登録されています。

### 受講対象

産業廃棄物の処理を委託又は受託し、適正に管理していくために必要な法的知識を習得したいと考えている方等

### 開催期日

開催期日		受講日数	定員
2023年	1月27日(金)	1日	50名
	2月21日(火)	1日	50名
	3月17日(金)	1日	50名

### 受講料

14,000円(消費税込み)  
(税抜額12,728円, 消費税1,272円)

### 開催場所

#### 国民會館 武藤記念ホール

〒540-0008  
大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館住友生命ビル12階  
TEL 06-6941-2433



○地下鉄天満橋駅3番出口から徒歩3分  
○京阪電車天満橋駅14番出口から徒歩6分

### 受講のメリット

- ①本講習会の修了者には、公益社団法人大阪府産業資源循環協会が認定する「**廃棄物管理士**」の資格が付与されます。  
なお、資格の有効期間は5年です。
- ②本講習会の修了者は、**堺市循環型社会形成推進条例に基づく「産業廃棄物管理責任者」**等として従事することが可能になります。
- ③本講習会の修了証は、大阪府における**産業廃棄物収集運搬業の許可を更新申請するための修了証**等として、ご利用いただけます(法人の場合は、原則として役員等が修了したものが対象です)。
- ④本講習会の受講者は、継続学習制度(CPDS)を利用することにより、多くの行政機関等でCPDSの点数(7ユニット)が行政手続きの技術評価項目としてご利用いただけます。

実施機関

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-1-22(大江ビル3階)

後援

大阪府

TEL 06-6943-4016

FAX 06-6942-5314

## C O N T E N T S

## トピックス ●

4

- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行について  
(令和4年4月1日環循総発第2204016号)
- 浄化槽法の運用に伴う留意事項について (令和4年6月27日環循適発第2206271号)
- 感染性廃棄物の取り扱いについて (国内でのサル痘患者の発生を受けて) (令和4年7月26日事務連絡)
- 令和4年度最低賃金額の改定及び最低賃金の引上げに向けた中小企業・小規模事業者支援事業に関する周知・広報の実施等について (令和4年9月21日基発0921第1号)
- 「PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」の策定について  
(令和4年10月3日環循規発第2210031号)
- 【産業廃棄物処理業者対象】令和4年度政府支援策一覧 (環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)

## 事業報告 ●

6

- OSK-sign (電子契約エントランスシステム) 導入説明会 (四次~六次)
- 廃棄物処理業務従事者の安定確保をテーマとした勉強会 (第4回・第5回)
- 優良認定推進研修会
- 産廃塾 (第1回)
- インボイス制度に関する説明会

## 会議報告 ●

6

- 協会の会議 理事会・委員会・部会・青年部
- 他団体会議 高度資源循環・デジタル化推進協議会 カarbonニュートラルWG  
循環経済WG  
公益社団法人全国産業資源循環連合会 全国正会員事務局責任者会議  
近畿地域協議会

- **クローズアップ** 動画コンテンツ配信サービス「OSK-learning」を始めました!

## メールマガジン「Clean Life オンライン」 ●

10

## 今後のスケジュール ●

12

## 入退会情報 ●

14

## 会員紹介 ● 日報ビジネス株式会社 大阪支社

16

## バックナンバーのご案内 ●

20

- Clean Life
- よくわかるシリーズ
- 廃棄物法制等普及促進シリーズ

## 編集後記 ●

22

表紙写真：2022NEW環境展 (東京ビッグサイト)

日報ビジネス株式会社 大阪事業所

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町1-5-11 カセンビル

## TOPICS

1

**プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行について  
(令和4年4月1日環循総発第2204016号)**

概要

令和4年4月から施行されているプラスチック資源循環促進法とその政省令や告示の運用に当たり留意すべき事項が示されています。とりわけ、「製造事業者等による自主回収・再資源化事業計画」や「排出事業者等による再資源化事業計画」について主務大臣から認定を受けた場合は、廃棄物処理業の許可が不要となることなどに注意が必要です。



関連サイト：環境省普及啓発ページ



2

**浄化槽法の運用に伴う留意事項について  
(令和4年6月27日環循適発第2206271号)**

概要

デジタル社会の実現に向けた構造改革を進めるため、従前、施設ごとの専従を原則としてきた浄化槽法令に基づく技術管理者について、デジタル技術等の活用を含め、実質的に施設の常時管理を果たし得る場合は、複数施設での兼任を認めることとする旨が示されています。



3

**感染性廃棄物の取り扱いについて(国内でのサル痘患者の発生を受けて)  
(令和4年7月26日事務連絡)**

概要

日本国内でも感染者が確認されているサル痘について、WHO（世界保健機関）が「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態」を宣言したことを受け、感染症法に基づく四類感染症であるサル痘のウイルスが含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物の取扱いが示されています。

関連資料：環境省 廃棄物処理法に基づく  
感染性廃棄物処理マニュアル



## 4 令和4年度最低賃金額の改定及び最低賃金の引上げに向けた中小企業・小規模事業者支援事業に関する周知・広報の実施等について（令和4年9月21日基発0921第1号）

### 概要

最低賃金の引上げの環境整備のため、令和4年度業務改善助成金について、次の措置を講じたことが示されています。

- ①原材料費高騰等の要因で利益率が減少した中小企業・小規模事業者による設備投資等に対し、助成範囲を拡大したこと
- ②事業場内の最低賃金が低い事業者に対し、助成率を引き上げるなどの支援拡充を図ったこと



関連資料：  
業務改善助成金  
(通常コース)のご案内



周知資料：  
業務改善助成金  
(特例コース)のご案内



## 5 「PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」の策定について（令和4年10月3日環循規発第2210031号）

### 概要

POPs条約第9回締約国会議でPFOA（ペルフルオロオクタン酸）等が新たに条約附属書に追加されたことを受け、これまでからあったPFOS含有廃棄物に加え、PFOA含有廃棄物についても、その分解処理方法等が取りまとめられ、技術的留意事項として示されています。



関連資料：技術的留意事項



## 6 【産業廃棄物処理業者対象】令和4年度政府支援策一覧（環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）

### 概要

環境省が作成した産業廃棄物処理業者が活用できる政府支援策の一覧です。詳細は事業を所管する所管課室等へお問い合わせください。

環境省 政府支援策一覧



環境省 政府支援策一覧(うちデジタル関連)



## 事業報告

## 協会の活動報告

## OSK-sign(電子契約エントランスシステム)導入説明会

- 8月25日(木) 9月26日(月)、10月26日(水)／オンライン
- 産業廃棄物処理業者のための契約書の電子化サービス「OSK-sign(電子契約エントランスシステム)」の導入を検討されている方を対象とした導入説明会を実施。

## 廃棄物処理業務従事者の安定確保をテーマとした勉強会

- 7月27日(水) 15時00分／協会会議室—9月2日(水) 15時00分／協会会議室
- 産業廃棄物処理業務従事者の雇用の安定化や定着率の向上について、実際に人事・労務を担当者が抱えている課題や取り組んでいる対策等の情報を交換することを趣旨とした勉強会を実施。

## 優良認定推進研修会

- 8月2日(火) 13時30分／協会会議室
- 優良処理業者の認定を受けるための優良基準の一つである「エコアクション21」の取得を支援するセミナーを開催。

## なにわサンパイ塾

- 10月6日(木) 15時00分／大阪府社会福祉会館 402号室
- 産廃処理企業に勤める社会保険労務士の奥野成俊氏を講師に迎え、最新の人材確保術や人事労務に関する情報を提供。参加者同士による意見交換もある参加型の研修を実施。

## インボイス制度に関する説明会

- 10月27日(木) 15時00分／大江ビル13階 第5・6会議室
- 公認会計士・税理士の鈴木一正氏、弁護士の山田浩介氏を講師に迎え、令和5年10月1日からスタートするインボイス制度の概要、制度移行に伴う独占禁止法・下請法上の留意点に関する説明会を開催。

## 協会の会議報告

## 理事会

- 7月13日(水) 16時00分／大江ビル13階 第6会議室
- 全産連マニフェスト譲渡価格の改定に伴う本会対応の件
  - 近畿建設リサイクル表彰推薦の件
  - 入会申込みの件(正会員(株)大阪マルカン 賛助会員(有)ユウゼン)
  - 「クラウドス」パートナーシップ契約の締結について
  - メール会員サービス(仮称)の開始について、等
- 10月19日(水) 16時00分／大江ビル13階 第6会議室
- 産業廃棄物処理における脱炭素化に向けた取組調査等の件
  - 産業廃棄物処理に必要な事務管理の電子化推進事業の件
  - 「クラウドス」パートナーシップ契約の締結について
  - 動画コンテンツ配信サービスの開始について
  - さんばいフォーラムの件
  - 入会申込みの件(正会員(株)都市樹木再生センター)
  - 羽曳野市災害廃棄物の処理等に関する協定締結の件

- 一般社団法人大阪府解体工事業協会との情報交換会について
- 大規模災害発生時における情報伝達訓練等について
- 令和4年度上期業務執行報告
- 産業廃棄物管理票の委託販売継続について
- 大阪府発注工事に係る産業廃棄物の処理にあたっての電子マニフェストの使用の義務化等について、等

**組織広報委員会** ————— 7月7日(木) 15時00分/大江ビル13階 第2会議室

- 入会審査
- Clean Life vol.87発行について
- なにわサンパイ塾開催について
- 令和4年度近畿建設リサイクル表彰候補者推薦について、等

————— 9月8日(木) 14時30分/大江ビル13階 第3会議室

- Clean Life vol.88発行について
- なにわサンパイ塾開催について
- 本委員会・法政策調査委員会共同開催「インボイス制度研修」について
- 高度資源循環・デジタル化推進協議会WGの報告

————— 10月6日(木) 13時00分/大阪府社会福祉会館 401号室

- 入会審査
- 令和4年度精励従事者表彰募集について
- 令和5年度全国産業資源循環連合会表彰の候補者選考について
- Clean Life vol.88発行について
- 令和4年度なにわサンパイ塾開催について

**危機管理委員会** ————— 7月22日(金) 13時00分/プリムローズ大阪 羽衣・東

- リスクアセスメント推進研修会の開催について
- 先進事例調査について
- 委員増強について

————— 9月9日(金) 15時00分/大江ビル13階 第2会議室

- 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会の開催について
- 先進事例調査について
- 安全優良職長厚生労働大臣顕彰の推薦について
- 委員増強について

**法政策調査委員会** ————— 8月29日(月) 15時00分/大江ビル13階 第3会議室

- 「2030年ビジョン」について
- 令和4年度 事業計画について

————— 10月27日(木) 14時00分/協会会議室

- 産業廃棄物に関する判例について

**収集運搬部会** ————— 6月29日(水) 15時00分/大江ビル13階 第3会議室とオンラインの併用

- 廃棄物不適正処理巡視について(6月22日実施分)
- 令和4年度廃棄物処理先進事例調査について
- 令和4年度廃棄物収集作業向上研修会について

**青年部** ————— 6月1日(水) 15時00分/大江ビル13階 第6会議室

- 令和4年度施設見学会について
- 令和4年度さんぱいフォーラムについて

————— 7月28日(木) 15時00分/大江ビル13階 第3会議室

- 令和4年度施設見学会について

- 令和4年度さんばいフォーラムについて
- 令和4年度先進事例調査について

8月30日(火) 14時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 令和4年度さんばいフォーラムについて
- 令和4年度施設見学会について
- 令和4年度先進事例調査について

9月21日(水) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 令和4年度さんばいフォーラムについて
- 令和4年度施設見学会について
- 令和4年度先進事例調査について

10月7日(水) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 令和4年度さんばいフォーラムについて
- 令和4年度施設見学会について

## 他団体会議等への出席の報告

### 大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会

5月30日(月) 書面提出

- 調査検討事項及びモデル事業等に関する周知・協力等の機会を、公益社団法人全国産業資源循環連合会近畿地域協議会の場で用意できる旨、提案。
- 今後オブザーバーとして一般社団法人和歌山県産業資源循環協会も参画してもらう旨、提案。

### 公益社団法人全国産業資源循環連合会全国正会員事務局責任者会議

7月8日(金) 14時00分 オンライン

- マニフェストの譲渡価格の改定について
- 許可講習会事業について
- 令和4年度労働安全衛生事業について
- 消費税インボイス制度について

### 高度資源循環・デジタル化推進協議会 カーボンニュートラルWG

7月26日(火) 13時00分 オンライン

- 収集運搬事業の脱炭素化対策のパッケージ化
- カーボンニュートラルに資する廃棄物の利用とトレーサビリティ

### 高度資源循環・デジタル化推進協議会 循環経済WG

7月26日(火) 15時30分 オンライン

- 循環経済に関する国内外の動向
- 資源循環価値化プラットフォームの検討
- プラスチック新法対応に係る検討

### 公益社団法人全国産業資源循環連合会近畿地域協議会

9月16日(金) 15時00分／神戸ポートピアホテル 和楽の間

- 令和4年度以降の開催方法について
- 令和4年度各種表彰の推薦について
- 公益社団法人全国産業資源循環連合会の活動状況について
- 新たな収入源確保のための協会連携事業について
- 大規模災害発生時における情報伝達訓練等について



# クローズアップ!

## 動画コンテンツ配信サービス 「OSK-learning」を始めます！

- 廃棄物処理の基本中の基本について、テーマごとに動画で学んでいただくための配信サービスを、今冬始めます！登録方法は準備ができ次第、本会HPでご案内いたします。
- コンテンツごとの内容が簡潔で短い（各1～3分程度）ため、スマートフォン等での視聴を通じ、移動中や待ち時間などを有効に活用していただけます。
- 新入社員用の研修教材として、また、お取引先に理解を深めていただくための営業ツールとしてなど、様々なご活用方法が考えられます。
- お一人様の利用につき、月額1,000円（消費税別）で、次の全コンテンツを自由に視聴していただけます。

### <コンテンツ・メニュー>

#### 廃棄物とは

- ① 廃棄物の種類
- ② 廃棄物の流れ
- ③ 誰が処理しなくてはならない!?
- ④ 産業廃棄物の処理を依頼する場合
- ⑤ 特に注意すべき廃棄物
- ⑥ 市町村に問い合わせる際の注意点

#### マニフェスト（産業廃棄物管理票）

- ⑦ マニフェストとは？  
（マニフェストの種類）
- ⑧ マニフェスト運用の流れ（フロー図）  
一次マニフェスト
- ⑨ マニフェスト運用の流れ（フロー図）  
二次マニフェスト
- ⑩ 電子マニフェスト
- ⑪ 禁止事項

#### 優良産廃処理業者認定

- ⑫ 優良産廃処理業者認定制度とは？  
認定のメリット
- ⑬ 認定に関する5つの基準

#### 廃棄物の運搬ルール

- ⑭ 収集運搬には許可が必要です
- ⑮ 表示の義務・書類携帯の義務
- ⑯ 積替え保管
- ⑰ 性状、性質に応じた車両の使用を

#### 廃棄物の安全処理

- ⑱ 産業廃棄物処理業における労働災害の現状
- ⑲ どのような労働災害が起きているか
- ⑳ 労働災害防止のための対策
- ㉑ 危険物・有害物の混入を防止しよう
- ㉒ 熱中症対策やストレスチェック

#### その他

- ㉓ WDS（廃棄物データシート）
- ㉔ 現地確認のチェックポイント

## メールマガジン「Clean Life オンライン」好評配信中!

会員を対象にメールマガジン「Clean Life オンライン」を配信中です。すでに多数の会員の方にご登録いただいておりますが、まだまだ受付中です。配信ご希望の会員の方は本会ウェブサイトプライバシーポリシーをご確認のうえ、同意された場合には下記要領に従い、配信先メールアドレスのご登録（無料）をお願い申し上げます。

### 公益社団法人大阪府産業資源循環協会のプライバシーポリシーの開示

<http://www.o-sanpai.or.jp/privacy>

なお、メールマガジン配信にご登録をされますと、ファックスによる情報提供は停止されます。予めご了承ください。

#### 【メールマガジン配信先のご登録要領】

1. 次の事項をご記入の上、[office@o-sanpai.or.jp](mailto:office@o-sanpai.or.jp)に送信してください。
  - ①会員の名称
  - ②ご担当者所属・役職・氏名
  - ③電話番号
  - ④配信先メールアドレス（1会員につき1メールアドレスのみの登録となります）
2. 送信時の件名は「メールマガジン配信希望（会員の名称）」としてください。

## Clean Life オンラインのバックナンバー

令和4年

7月8日

Vol.567 ■大阪府商工会連合会による事業継続計画（BCP）策定支援制度について

7月8日

Vol.568 ■大阪市主催「電子マニフェストシステム操作研修会」追加開催のご案内

7月15日

Vol.569 ■（低炭素関係）脱炭素化支援機構に関する全国説明会の開催について

7月15日

Vol.570 ■<大阪府からのお知らせ>  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組について

7月15日

Vol.571 ■<全国産業資源循環連合会主催>  
「令和4年度最終処分場維持管理講習会」開催のご案内

7月19日

Vol.572 ■（低炭素関係）脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業（追加公募）

7月27日

Vol.573 ■講義ビデオ会場視聴型講習会  
（更新：収集運搬課程）のご案内

7月28日

Vol.574 ■（環境省）感染性廃棄物の取り扱いについて  
（国内でのサル痘患者の発生を受けて）

8月1日

Vol.575 ■令和4年度（第73回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について

8月8日

Vol.576 ■産業廃棄物処理業者対象  
令和4年度政府支援策一覧

8月8日

Vol.577 ■産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書  
【2022年4-6月期】について

8月17日

Vol.578 ■（厚生労働省）労働契約等解説セミナーの開催について

8月23日

Vol.579 ■（厚生労働省）職場における熱中症予防対策の徹底について

8月26日

Vol.580 ■ <大阪府からのお知らせ>  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取り組みについて

8月31日

Vol.581 ■ (低炭素関係) 脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業の4次公募について

9月6日

Vol.582 ■ <大阪府からのお知らせ>  
大阪府発注工事等における電子マニフェスト使用の義務化について

9月8日

Vol.583 ■ (低炭素関係)  
脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業

9月12日

Vol.584 ■ 令和4年度 なにわサンパイ塾開催のご案内

9月16日

Vol.585 ■ <大阪府からのお知らせ>  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取り組みについて

9月26日

Vol.586 ■ 【情報提供】緊急地震速報訓練の実施について

9月27日

Vol.587 ■ <産業廃棄物処理振興財団主催>  
経営戦略セミナー(特別セミナー) 連合会の永井良一会長による講演 無料視聴のご案内

9月27日

Vol.588 ■ <全国産業資源循環連合会主催>  
「令和4年度最終処分場維持管理講習会」開催のご案内

10月3日

Vol.589 ■ 最低賃金額の引上げに向けた中小企業・小規模事業者支援事業等について

10月3日

Vol.590 ■ 令和4年度「電子マニフェスト導入実務説明会(web説明会)」の開催について

10月5日

Vol.591 ■ P F O S 及び P F O A 含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項の策定について

10月6日

Vol.592 ■ (環境省) 改正フロン排出抑制法に関する説明会のお知らせについて

10月11日

Vol.593 ■ ※再案内  
<産業廃棄物処理振興財団主催> 「経営戦略セミナー」の開催(無料開催含む)について

10月14日

Vol.594 ■ 「女性部協議会設立総会&第1回女性部会のごとく on the Web」の開催について

10月14日

Vol.595 ■ (一社) 廃棄物処理施設技術管理協会主催  
廃棄物処理施設技術管理者中央研究会の開催について

10月14日

Vol.596 ■ 令和4年度精励従事者表彰候補者の募集について

10月20日

Vol.597 ■ 令和4年度施設見学会開催のご案内

10月27日

Vol.598 ■ 2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けたアンケート調査へのご協力をお願い

## 今後のスケジュール

年 月 日	行 事	場 所
令和4年12月2日	廃棄物管理士講習会	国民會館 武藤記念ホール
令和4年12月7日～8日	施設見学会	・(株)ツネイシカムテックス ・広島市一般廃棄物処理施設 中工場
令和4年12月20日	廃棄物管理士 スキル向上セミナー	大阪産業創造館
令和5年1月27日	廃棄物管理士講習会	国民會館 武藤記念ホール
令和5年2月初旬	リスクアセスメント推進研修会	大阪府中央区農人橋1-1-22 大江ビル13階 会議室
令和5年2月17日	さんぱいフォーラム	エル・おおさか/ エルシアター
令和5年2月21日	廃棄物管理士講習会	国民會館 武藤記念ホール
令和5年3月3日	廃棄物収集作業向上研修会	大阪府中央区農人橋1-1-22 大江ビル13階 会議室
令和5年3月10日	なにわサンパイ塾	大阪府中央区農人橋1-1-22 大江ビル13階 会議室
令和5年3月17日	廃棄物管理士講習会	国民會館 武藤記念ホール
月に1回程度 (適宜開催)	OSK-Sine (電子契約エントラ ンスシステム) 導入説明会	オンライン

状況によっては変更が生じることがあります

◎公益社団法人  
大阪府産業資源循環協会  
会員処理・処分施設マップ  
2022年度版

## 2022年度版 会員処理・処分施設マップ 販売のお知らせ

掲載内容 社名 電話番号 所在地  
処理・処分の方法

サイズ 896mm×652mm

価格 会員1,650円

本体1,500円 消費税150円

一般2,200円

本体2,000円 消費税200円

※別途送料 210円～

購入申込方法

任意の用紙に①申込者（会社名と担当者名）②送り先住所③電話番号④購入枚数をご記入のうえ、本会にFAX送信してください。

**FAX 06-6942-5314**



## 新規入会会員紹介

令和4年8月～令和4年10月に入会した会員

正  
会  
員

株式会社 都市樹木再生センター			
代 表 者	代表取締役 東 野 隼 人		
住 所	〒574-0012 大阪府大東市大字龍間1266-5		
電 話 番 号	072-869-0080	F A X 番 号	072-869-0081
業 務 内 容	産業廃棄物中間処理業(破碎)・収集運搬業、 一般廃棄物再生処理業、間伐材集荷事業		

退会会員 ————— 令和4年7月～令和4年10月に退会した会員

正 会 員 株式会社 ミナミノ

## 広告募集

Clean Lifeでは会員の皆様の広告を募集しています

A4 1 / 2 ページ **20,000円** (消費税込)A4 1 ページ **40,000円** (消費税込)

広告原稿は完成データを入稿してください。  
詳しくは弊社までお問合せください。

## 会員メリットのご紹介

廃棄物処理に関する個別相談を優先的に承っております。ご来所の場合はあらかじめ予約していただくとスムーズです。お電話でも相談に応じておりますのでお気軽にどうぞ。

会員は、公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設業者が必ず受けなければならない経営事項審査（経審）の加点（20点）対象です。審査に必要な会員の証明書の発行を希望される方は弊社までお問合せください。

会員は廃棄物管理士講習会の受講料が半額になります。その他の弊社主催のセミナーやイベントも無償又は割引が適用されます。

	入会金	会 費
<b>正 会 員</b>	<b>30,000円</b>	収集運搬業 10,000円/月 中間処理業・最終処分業 15,000円/月 ※正会員は半年分ずつ前納
<b>賛助会員</b>	<b>30,000円</b>	50,000円/年 ※一年分を前納

令和4年11月15日現在で正会員269社、賛助会員58社の加入があります。弊社主催のセミナーやイベントに参加され、知識習得のみならず同業者間の繋がり作りにも役立てていただいております。

入会について詳しくお知りになりたい方は弊社までお問合せください。

**電話 06-6943-4016**

Member

会員紹介

Information

## 日報ビジネス株式会社

## C O M P A N Y P R O F I L E



代表取締役  
河村勝志

インタビュー

代表取締役 河村 勝志  
 東京事業所 東京都千代田区神田三崎町3-1-5 神田三崎町ビル  
 大阪事業所 大阪府大阪市中央区南本町1-5-11 化繊ビル  
 事業内容 出版業  
 展示会・イベント主催

## 沿革

1957年 河村博が「日本包装タイムス社」を創業  
 1960年 株式会社組織に改組  
 1973年 社名を株式会社日報に変更  
 1975年 月刊「廃棄物」を創刊  
 1989年 週刊「産廃タイムス（現「循環経済新聞」）を創刊  
 第1回廃棄物処理展を東京・晴海の見本市会場で開催  
 2000年 廃棄物処理展を「NEW環境展」と改称し、東京・大阪・福岡で  
 開催  
 2003年 「Earth Guardian」（現「地球温暖化」）を創刊  
 2004年 「E-Contecture」を隔月刊として5月創刊  
 2005年 グループ会社の日報イベント株式会社が平成17年度環境保全功  
 労者環境大臣表彰を受賞  
 2006年 日報国際貿易発展（天津）有限公司／北京支局を開設  
 中国・欧州諸国と環境情報の交流スタート  
 沖縄環境フェアを初開催  
 2009年 「地球温暖化防止展」を初開催  
 「世界環境共生都市博」を初開催  
 2010年 河村勝志が現社長就任  
 2012年 日報イベント株式会社と合併し、日報ビジネス株式会社を設立  
 2015年 月刊「廃棄物」創刊40周年記念号発行  
 2016年 週刊「包装タイムス」創刊50周年号を発行  
 2017年 創業60周年記念社員総会を創業の地大阪にて開催  
 2019年 週刊「循環経済新聞」創刊30周年記念号を発行

## INTERVIEW

## 「包装」と「環境」の専門ジャーナルとして

—御社の概要をお聞かせください。

河村：当社は「包装」と「環境」、二つの産業界にまたがる新聞・雑誌など専門媒体の発行を中心に事業展開する出版社です。各業界の皆さんが必要とする情報を定期刊行物として届ける報道、直接的な出会いの場と商談の機会となる展示会の主催、そして専門セミナーの開催などが主な事業です。また、グループ会社の㈱クリエイト日報として、イベント・展示会の装飾やカタログなど販促ツールの企画制作、DTP、ウェブサイトの運営、単行本の発行なども手掛けています。

廃棄物業界の皆さんには、『週刊循環経済新聞』の発行元、あるいは「NEW環境展・地球温暖化防止展」の主催者、と言った方が分かりやすいかもしれませんね。そういったメディアの発行と展示会の主催を通して、皆さんにビジネスチャンスを提供し、業界の発展に寄与することが当社の責務です。

—専門ジャーナルとして、多くの媒体を発行されています。

河村：環境分野の媒体としては、メインメディアであり廃棄物の適正処理・リサイクルの専門紙である『週刊循環経済新聞』、一般廃棄物や廃棄物行政の情報誌『月刊廃棄物』、解体工事と建設リサイクルに特化した『隔月刊イー・コンテクチャー』、そしてCO<sub>2</sub>削減や新・省エネビジネス誌の『隔月刊地球温暖化』の4媒体を発行しています。一方の包装分野では、『週刊包装タイムス』、『月刊食品包装』、『月刊カートン・ボックス』の3媒体を扱っています。



—包装と環境という、まったく違う分野の情報を扱われているんですね。

河村：皆さん、そうおっしゃいます（笑）。ですが、当社にとっては必然……、あるいは表裏一体の分野という認識なのです。

1957年の創業時、当社は包装分野の専門ジャーナルとしてスタートしましたが、高度経済成長期の最中に廃棄物が飛躍的に増えていきました。そして、そのなかで最も多いものが、我々の扱う包装材だったのです。それを目の当たりにした当社の創業者は「包装はのちに必ず廃棄物になる。これを何とかしなければならぬ」と、廃棄物問題に取り組むことを決意しました。もちろん、包装材は社会に不可欠なものですし、それ自体が悪いものではない。それをしっかりと処理する受け皿……、廃棄物業界をバックアップしていこう。そういった決意のもとで、1975年に『月刊廃棄物』を創刊したわけです。

—のちの廃棄物問題を先取りされていたと。

河村：当初は難色を示される包装業界の方もいらっしゃいましたし、社内にも戸惑いはありました。しかし、廃棄物が社会課題となってくるにつれて、徐々に我々の考えが理解されるようになっていきましたし、その意味ではお役に立てたという実感があります。

## INTERVIEW

## 人と人が出会いビジネス創出の場となる「NEW環境展」

——「NEW環境展・地球温暖化展」は、業界の一大イベントとして定着していますね。

河村：ありがとうございます。展示会事業は当社の大きな軸として、環境と包装の両分野で主催しています。特に「NEW環境展」は1992年の初開催以来、「環境ビジネスの展開」をテーマに、最新の環境技術・サービスが一堂に会するB to B展示会として業界の皆さんにご支持をいただき、いまや同種の展示会ではアジア最大級の規模にまで成長しました。

我々にとって媒体と展示会は両輪であり、創業時から同時に展開してきました。新聞・雑誌で必要な情報を届ける。そのうえで、新しい技術を実際に触れることができ、人と人が出会い交流の場となる展示会を設ける。両方があってはじめて、真にビジネスを創出するお手伝いができる、との考え方があるからです。だからこそNEW環境展は、啓発のための展示会しかなかった時代に、唯一の環境分野のビジネス向け展示会として立ち上げました。

業界のお役に立つ。そして、業界から必要とされる存在であり続ける。これは当社の事業を貫く基本理念でもあります。ですから、かつて創業者が「産廃業界も協会を作っていかなければならない」と組織化をバックアップしたのも、業界が社会に認められるためには団体を作り、組織的に社会へとその意義を発信することが重要と考えたからなのです。



2022NEW 環境展の様子。東京ビッグサイトにおいて3日間で延べ 67,402 人が来場した。

——当協会の立ち上げにもご尽力いただいたと伺っています。

河村：これは包装業界にも共通しますが、かつての廃棄物業界も各社がばらばらに動き、各地域で割拠しているような状態でした。しかし、個社の力には限界がありますし、数としてのまとまりがなければ社会に訴えることもできず、それ以上の発展は望めない。だからこそ、人と人をつなぐ仕事をしてき



## INTERVIEW

た当社が組織を後押しして、みんなで業界を底上げしよう。

そうした思いで創業者が大阪府下の廃棄物業者の皆さんにお声掛けし、思いを共にしていただいたのが、貴協会の初代会長であった濱野清氏を中心とした皆さんでした。はじめは処理事業協同組合として、のちに(社)大阪府産業廃棄物協会（現(公社)大阪府産業資源循環協会）となるわけですが、大阪で組織化ができたからこそ同時に東京、そして全国へと組織化の波が広がっていきましたから、貴協会の設立はとても意義深いものがあります。当社としても、業界の皆さんと一緒に成長してきたという実感がありますし、さらに業界への貢献を深めたいですね。

## 困難な時代だからこそ業界の次なる在り方を

——ともに歩まれてきたジャーナルとして、現在の産廃業界をどのように見られていますか？

河村：廃棄物処理全般にわたることですが、非常に困難な時代を迎えています。ひとつは処理物の性質面ですね。素材や製品の技術開発が進み、新たに複雑な性質を持った資材や複雑な構造を持った製品、複合素材などが増えています。さらに有害性の問題もありますし、適正処理・リサイクルのハードルはますます上がっているでしょう。

もうひとつは、制度面の課題です。今年4月にプラスチック資源循環促進法が施行され、太陽光パネルでは個別リサイクル法制化などが議論されていますが、時代の変化とともに法制度も見直され、常に変化していきます。廃棄物処理業は許認可業ですから、これらの変化に対応していかなければなりません。

さらに忘れてならないのは、社会的な要請への対応です。CO<sub>2</sub>削減や資源循環、SDGs達成など、持続可能な社会の実現のため、環境分野のプロフェッショナルとしての期待が廃棄物業界に向けられています。こうした声に応えるのは、これからの時代に不可欠でしょう。

——廃棄物の適正処理を通して、社会全体の課題に貢献していく必要があると。

河村：昨今の自然災害の顕著化を受けて自治体などと災害協定を結び、災害廃棄物の処理をもって復旧・復興に寄与する取り組みが、まさにそうですね。そこからさらに、脱炭素や循環経済ビジネスの実現に向けて、処理技術・サービスを磨いていくことが重要ではないでしょうか。その意味で、貴協会が打ち出された「2030VISION」は、非常に時宜を得たものですね。産廃業者が地域に根差した環境分野の複合的なインフラとなって、地域循環共生圏の実現に寄与し、協会がそのためのプラットフォームになっていくというのは、素晴らしいビジョンだと感じました。

——最後に、業界に向けてのコメントをお願いします。

河村：先日、テレビのバラエティー番組で女性タレントが生ごみのリサイクルについて楽しそうにレポートするのを見たのですが、廃棄物に対する一般の皆さんの印象はここまで変わってきた、時代が変わってきたということを実感しました。

そして、時代が変わり、質が変わったとしても、廃棄物そのものはなくなりません。業界の皆さんがその変化を的確に捉えられるよう、我々にはジャーナルとして情報発信をしていく使命があります。「業界に必要な存在たれ、業界に役立つ存在であれ」、という創業者の言葉を胸に、今後も廃棄物業界の皆さんとともに成長していきたいと思えます。

——本日は、ありがとうございました。

BACK

バックナンバーのご案内

NUMBER

## 弊会HPで全号公開中

- 第78号** (令和元年9月24日発行) ●動きだすプラスチック資源循環
- 第79号** (令和元年12月20日発行) ●食品ロスの削減に向けた新たな取組み
- 第80号** (令和2年3月25日発行) ●4月1日施行 改正フロン排出・抑制法
- 第81号** (令和2年9月25日発行)  
●さんぱいフォーラム ―私たちが残したものの“2R”― 終了報告  
●産業廃棄物処理委託契約書の電子化サービスに関する意識調査 アンケート結果
- 第82号** (令和3年3月25日発行)  
●バーゼル条約に基づくプラスチックの輸出規制について  
●改正大気汚染防止法の一部施行(令和3年4月1日)について
- 第83号** (令和3年6月28日発行)  
●新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた産業廃棄物処理業者が活用できる支援策  
●太陽電池モジュールの適正なリユース促進ガイドライン
- 第84号** (令和3年9月27日発行) ●廃棄物処理の脱炭素化
- 第85号** (令和3年12月22日発行)  
●新たなアスベストの飛散防止対策 ― 関連規制の改正 ―
- 第86号** (令和4年3月28日発行)  
●さんぱいフォーラム ―2050年C Nに向けた脱炭素と資源循環― 終了報告  
●プラスチック資源循環促進法の施行に向けて
- 第87号** (令和4年7月28日発行)  
①廃棄物熱回収施設設置者認定マニュアルの改訂について  
②「バイオマス発電燃料等に関する廃棄物該当性の判断事例集」の更新について  
③リチウム蓄電池等処理困難物対策集の公表等について  
④感染性廃棄物処理マニュアルの改定について

クリーンライフ

普及促進シリーズ  
廃棄物法制等

- 廃棄物法制等普及促進シリーズVol.4** 第2版 2014年12月1日発行  
●産業廃棄物処理業におけるヒヤリ・ハットの事例分析
- 廃棄物法制等普及促進シリーズVol.5** 第3版 2019年3月1日発行  
●廃棄物収集作業
- 廃棄物法制等普及促進シリーズVol.10** 第2版 2019年11月1日発行  
●産業廃棄物処理業に関するBCP策定ガイドライン
- 廃棄物法制等普及促進シリーズVol.12** 2017年12月1日発行  
●廃棄物処理先進事例調査報告書

公益社団法人  
大阪府産業資源循環協会の

分かりやすくして  
コンパクト

必携の  
一冊

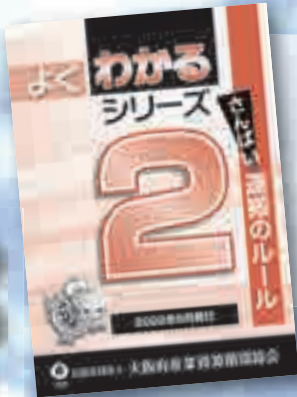
## よくわかるシリーズ1

産業廃棄物の処理の委託をするときに不可欠なマニフェストのしくみを分かりやすく解説！本冊子ではマニフェストの書き方や各伝票の運用方法を記載例、フロー図などを駆使しながら説明しています。巻末にはマニフェストについてよく質問される事柄をQ&A方式で掲載！産業廃棄物の処理を委託する方、される方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ2

産業廃棄物を運搬するときに、守らなければならない処理基準を中心に解説！収集運搬車両の表示板、積替保管する場合の基準、施設（車両）の使用権限から大阪府流入車規制など、収集運搬において必要となる事柄をコンパクトに説明しています。巻末には収集運搬についてよく質問される事柄をQ & A方式で掲載！産業廃棄物の収集運搬をされている方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ3

許可の有効期限の延長など、産廃処理業者にとって数々のメリットがある優良産廃処理業者認定制度を分かりやすく解説！優良認定を受けるための5つの基準を説明するだけでなく、過不足なく申請事務を行えるよう、チェックリストも収録しています。巻末には優良産廃処理業者認定制度についてよく質問される事項をQ&A方式で掲載！優良産廃処理業者の認定を目指されている方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ4

これは産業廃棄物か一般廃棄物か？産業廃棄物の中のどの種類になるのか？など、廃棄物の適正処理の基本となる考え方や判断基準を中心に解説！廃棄物の取扱説明書として必携の一冊です。ふだんゴミ出しでお困りの一般の方々も、ぜひお読みください。



## よくわかるシリーズ5

他業種にくらべ圧倒的に労働災害が多い廃棄物処理業では、廃棄物の適正な処理だけでなく、安全な処理も求められます。本書は産業廃棄物の処理における労働災害の未然防止徹底を目的に作成した一冊です。「労災ゼロ」を目指して、ぜひご活用ください。



## 編集後記

先日私の友人が結婚式を挙げた。コロナ禍において3度延期をしてやっと開催ができたこともあり、感動も人一倍かと思いきや、本人達の感想は「ほっとした」。

約3年の準備期間？待機期間？があり、当初の希望していたプログラムは感染症対策のためにできなくなったり、泣く泣く招待を断念した方など、まだまだいろいろな制限の上で成り立った結婚式だったようだ。

何をするにもコロナウィルスの影響を受けている今日。これまで医療、教育、環境は安定した事業と教えられてきたが、このコロナ禍において教育は一時止まった。医療従事者の方達への感謝と尊敬は忘れてはいけないが、同じくエッセンシャルワーカーとして、街のそして社会の公衆衛生を維持し続けた環境分野の廃棄物処理業という仕事にもスポットライトが当たった。人の命を直接助けるわけではないが、社会インフラを支える、その名の通り無くてはならない仕事であることが改めてわかった。

戦争、円安、なんでもかんでも値上げと暗いニュースが目立つが、変わったことは悪い事ばかりではない。約3年前、当たり前のようにリモート会議が定着する事を誰が予想できただろうか。移動時間が無くなり、遠方の方との急な打合せも簡単にできるようになった。またそれと同時に、会って話すことの大切さ、心地良さも改めて感じる事ができた。多くの犠牲の上に成り立っていることは間違いないが、これを進化と捉え、ニューノーマルの先には、明るい社会、明るい日本が待っていることを願う。

尾崎

### 新「メール会員サービス」のご案内

本会のイベントやセミナーを中心に厳選した情報を随時お伝えするメルマガを新たに発行いたします。会員・非会員問わず無料でご利用いただけますので、配信ご希望の方は以下の要領でお申込みください。

なお、正会員・賛助会員限定メルマガ「**れん楽網 Clean Life オンライン**」はこの新サービスとは別で引き続きご利用いただけます。

申込先アドレス [news@o-sanpai.or.jp](mailto:news@o-sanpai.or.jp)

件名 メール会員サービスの申し込み

本文 ① 氏名 ② 所属企業・団体名 ③ メールアドレス ④ 電話番号

## Clean Life vol.88

編集 公益社団法人 大阪府産業資源循環協会  
組織広報委員会

委員長	高好健二	委員	北本かおり
副委員長	田中公治	委員	渋谷和義
副委員長	片渕則人	委員	高田実佐大
委員	伊地知宏徳	委員	平尾道哉
委員	伊山雄太	委員	福田勝
委員	尾崎正孝	委員	山口玉緒
委員	河野登志夫	事務局	福原睦美



産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の許可申請に関する講習会（新規・更新）  
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

# 2022年度 講習会試験日 近畿地区日程表

(午前) 9:50開始 (午後) 13:30開始

	新規				更新		特別管理産業廃棄物 管理責任者試験
	産業廃棄物 収集運搬試験	産業廃棄物 処分試験(※1)	特別管理産業廃棄物 収集運搬試験	特別管理産業廃棄物 処分試験(※2)	収集運搬試験	処分試験(※3)	
受講料	¥25,300	¥39,600	¥37,400	¥56,100	¥16,500	¥20,900	¥13,200
2022年 4月							
5月					兵庫会場： 17日(午前・午後) 18日(午前)		兵庫会場： 18日(午後)
6月	大阪会場： 14日(午前)15日(午前) 京都会場： 21日(午後) 奈良会場： 21日(午前)		京都会場： 23日(午前)		大阪会場： 14日(午後)15日(午後) 京都会場： 21日(午前)22日(午後) 奈良会場： 21日(午後)22日(午前) 大阪会場： 29日(午後)30日(午後)	京都会場： 22日(午前)	奈良会場： 22日(午後) 京都会場： 23日(午後) 大阪会場： 29日(午前)30日(午前)
7月	京都会場： 7日(午前) 兵庫会場： 12日(午前)	兵庫会場： 12日(午後)			京都会場： 7日(午後)8日(午前) 兵庫会場： 13日(午前)		京都会場： 8日(午後) 兵庫会場： 13日(午後)
8月	和歌山会場： 2日(午前) 大阪会場： 9日(午前)10日(午前) 兵庫会場： 25日(午後)		兵庫会場： 24日(午前)		和歌山会場： 2日(午後)3日(午前) 兵庫会場： 23日(午前)25日(午前)	兵庫会場： 24日(午後)	和歌山 3日(午後) 大阪会場： 9日(午後)10日(午後) 兵庫会場： 23日(午後)
9月	兵庫会場： 7日(午後)				兵庫会場： 6日(午前)7日(午前) 大阪会場： 14日(午後)15日(午後)		兵庫会場： 6日(午後) 大阪会場： 14日(午前)15日(午前)
10月	大阪会場： 12日(午前) 滋賀会場： 19日(午前) 奈良会場： 21日(午前) 京都会場： 25日(午後)				大阪会場： 13日(午後) 滋賀会場： 19日(午後)20日(午前) 奈良会場： 21日(午後) 京都会場： 25日(午前)26日(午後) 27日(午後)	京都会場： 27日(午前)	大阪会場： 12日(午後)13日(午前) 滋賀会場： 20日(午後) 京都会場： 26日(午前)
11月		大阪会場： 10日(午後)		大阪会場： 9日(午後)	大阪会場： 9日(午前)11日(午前)		大阪会場： 10日(午前)11日(午後)
12月	兵庫会場： 6日(午前) 大阪会場： 15日(午前)16日(午前)	兵庫会場： 6日(午後)	大阪会場： 15日(午後)		兵庫会場： 7日(午前) 大阪会場： 16日(午後)		兵庫会場： 7日(午後)
2023年 1月	大阪会場： 13日(午前) 兵庫会場： 17日(午前)				大阪会場： 12日(午前) 兵庫会場： 18日(午前)	兵庫会場： 17日(午後)	大阪会場： 12日(午後)13日(午後) 兵庫会場： 18日(午後)
2月	大阪会場： 8日(午前)10日(午前) 和歌山会場： 7日(午前) 京都会場： 15日(午後) 兵庫会場： 22日(午後) 滋賀会場： 17日(午後)	京都会場： 16日(午前)			和歌山会場： 7日(午後)8日(午前) 大阪会場： 9日(午前)10日(午後) 兵庫会場： 21日(午前)22日(午前) 滋賀会場： 16日(午前) 京都会場： 16日(午後)	大阪会場： 8日(午後)	大阪会場： 9日(午後) 兵庫会場： 21日(午後) 京都会場： 15日(午前) 滋賀会場： 16日(午後)17日(午前)
3月	大阪会場： 2日(午前)3日(午前)				大阪会場： 3日(午後)	大阪会場： 2日(午後)	

- (※1) 新規産業廃棄物処分試験に追加して新規収集運搬試験を受験することができます。
- (※2) 新規特別管理産業廃棄物処分試験に追加して新規特別管理産業廃棄物収集運搬試験を受験することができます。
- (※3) 更新処分試験に追加して更新収集運搬試験を受験することができます。

講習会：「講義」は事前に各自会社や自宅等でオンラインで受講し、「修了試験」は上記日程表に記載した試験会場に会場して受験する2段階形式の講習会となります。

講習会の申込はインターネット申込みのみです。

詳細は講習会主催者のJWセンターのサイト <https://www.jwnet.or.jp> をご覧ください。



